

令和4年度 市政運営会議 議事概要

日時	令和4年10月5日（水）15:20～15:30
議題	令和5年度に向けた市政取組方針について
出席者	高島市長、光山副市長、中村副市長、荒瀬副市長、 総務企画局長、総務企画局行政部長、総務企画局企画調整部長、 総務企画局人事部長、財政局長、財政局財政部長
決定事項	○令和5年度に向けた市政取組方針について、別紙のとおりとする。
議事要旨	<p>【荒瀬副市長】</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策や、少子化対策に取り組むとともに、子どもたちや高齢者、障がい者など、誰もが自分らしく生き生きと暮らし、その能力を十分に発揮できるよう、「生活の質の向上」にしっかり取り組んでいただきたい。 <p>【中村副市長】</p> <ul style="list-style-type: none">・みどりや文化芸術などに磨きをかけたまちづくりを進めるとともに、再生可能エネルギーの利用拡大などにより、カーボンニュートラルの実現に向け積極的に取り組むことが重要である。・また、ポストコロナを見据えた交流人口の回復や、都心部機能の強化などにより、「都市の成長」を促す取組みを進めていただきたい。 <p>【光山副市長】</p> <ul style="list-style-type: none">・持続可能な市政運営を行うためには、より効果的で効率的な組織・予算編成に取り組むことが必要不可欠であり、同時に職員が最大限の力を発揮できる環境づくりが重要である。・このため、11時間の勤務間インターバルの徹底などにより、職員の Well-being 向上に取り組むとともに、DX をさらに進め、市民ニーズや社会経済情勢の変化に柔軟に対応した行政サービスを提供できるよう、取り組んでいただきたい。

【高島市長】

- ・新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見通せない中で、エネルギーや物価の高騰などが加わり、市民生活や地域経済へのさらなる影響が懸念される。一方で、カーボンニュートラルやDXなどの社会システムの転換に適切に対応しながら、少子高齢化や人口減少などの構造的な課題の解決にも積極的に取り組む必要があると考えている。
- ・このような時代の変革期にこそ、果敢にチャレンジしていくことが肝要であり、職員一人ひとりが次の時代に向けて新たな種をまく、そのような気持ちで取り組んで欲しい。